



ましみずの里

天童市立高揃小学校
学校だより No.2
令和6年 4月 9日
校長 齊藤厚志

ご入学おめでとうございます

～80名の新入児童を迎え、児童数424名に～

本日、たくさんのご来賓の皆様のご臨席のもと、入学式を無事挙行了いたしました。今年度は、久しぶりに2～6年生全員で、新入生の入学をお祝いいたしました。80名の児童が入学し、昨年度より42名増の424名で、新年度をスタートいたします。

『入学式 式辞』より

校庭の桜も咲き始め、この高揃の地に、待ちに待った春がやってきました。そのような佳き日、天童市教育委員の工藤昭広様、本校PTA会長大内啓司様を始め、高揃小学校を見守り支えてくださっている多数の地域の皆様のご臨席のもと、このように盛大に、入学式を挙行できますこと、大変うれしく思います。

80名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今日からみなさんは高揃小学校の仲間です。先生方と在校生のお兄さん、お姉さんは、みなさんが入学するのを、とても楽しみにしていました。今日の式は、久しぶりに、2年生から6年生まで全員が参加して、みなさんの入学をお祝いします。

高揃小学校は、普段の授業や校外学習、土俵入り発表会や運動会、学習発表会などの行事、児童会活動など、楽しいことがいっぱいです。同じ1年生の仲間や、お兄さん、お姉さんたちと一緒に、いろいろな活動がありますので、楽しみにしててください。

それでは、1年生のみなさんに、高揃小学校の仲間になったら大切にしてほしいことを、2つ、お話しします。

1つ目は、「『みんなが力のつく温かくて楽しい学校』を、高揃小学校のみんなで作っていきましょう」ということです。在校生には、昨日の始業式で話をしました。学校のいろんな活動を通して、あったかい人と人との関係を築きながら、幸せに生きていくうえで必要な大切な力を、高揃小学校の先生方と児童全員で協力して、一人一人身につけていきましょう。

2つ目は、「自分のことは自分でできるようになりましょう」ということです。幸せに生きていくためには、まずは、毎日、自分でちゃんと起きたり、自分で学校の持ち物を揃えたりと、自分のことは自分でできる、ということが、とても大事です。お父さんお母さん、家族の力を借りなくても、いろんなことができるように、一人一人これからも頑張ってください。応援しています。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本校の学校教育目標である「自ら学び、ともに伸びる」の具現化、そして、子供たちの自立を目指して、私たち教職員一同、子供たちとともに精いっぱい努力してまいります。

そのうえで私がこれまでの教員生活を通じ、大切だと信じ、実践し続けていることは、我々大人が「転ばぬ先の杖」にならない、ということです。もう少しわかりやすく言い換えますと、我々教職員や保護者の皆さんが、子供が転ばないように先回りして必要以上にやってあげたり、解決してあげたりするのではなく、子供の発達段階に応じて、転んだ時の起き上がり方を教えたり、子供が自分で起き上がれるように支援したりすることが大事だということです。私たちがずっと横にいて、子供の面倒を見ることはできないのです。我々大人が、子供たちのよき手本となり、子供たちが幸せに生きていくうえで必要な力を身に付けられるよう、連携・協働して、支援してまいりましょう。心配なことがございましたら、本校教職員に、遠慮なくご相談ください。

結びになりますが、80名の新入生が、今日から始まる小学校生活を、先生方・仲間とともに楽しく充実したものにできるよう、心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

『入学式 児童代表歓迎の言葉』

6年 児童代表

新1年生のみなさん、ようこそ高揃小学校へいらっしゃいました。

この学校は、今年151歳になります。

昔からある相撲の土俵入りや獅子踊りに、みんなで取り組んでいます。

勉強では、みんなの前で話をしたり、タブレットを使って調べたことをまとめたりしています。

1年生から6年生までの縦割り班があって、一緒に掃除をしたり、運動会の応援練習をしたり、他の学年の人とも活動しています。

これからみなさんといろんなことをして、仲良くなれることが楽しみです。どうぞよろしくお願いします。